



竹の子川柳会

たんじょうびケーキを食べるしあわせだ

小学校三年生

プレゼントしあわせいっぱいいつまってる

小学校三年生

かきごおり食べてしあわせにっこりと

小学校三年生

ともだちにあしたわたそうプレゼント

小学校四年生

しんぶんし字がたくさんで真っ黒だ

小学校四年生

青空とふわふわ白の美術品

小学校五年生

幸せは一つ一つを大切に

小学校六年生

百点のテスト渡されいい気持ち

小学校六年生

青き空広がる未来に平和な世

中学校三年生

お手紙は心を込めてきれいな字

高校一年生

人間は今の感情字に写る

高校一年生

後輩にバトンを渡しつないでく

高校二年生

ひよし川柳会

こつこつと重ねた努力歯がたため

伊勢本 恵

心身を透析させた里帰り

山本 雅之

星になったばあばに祈る小さな手

水野すみこ

この人生解っていたか星の元

熊本 忠真

星月夜遠回りする散歩道

中城 英雄

絶好調で体重計の悲鳴きく

山本 節

重いほど土産持参で孫に会う

菅原 由紀

八十路坂重さにしる布団干し

木村 貞子

天秤二杯水が軽い日重たい日

若宮 賢敬

コロナ禍で仲間が減った縄のれん

大崎 五葉

釣り仲間いつも情報分かち合い

川添 忠昭

呱呱の声今日から我が家の仲間入り

兵頭チヨカ

仲間外れになりたくなくて朱に染まる

宮川 柳酔

笑い種播いてさっぱりエビス顔

宇都宮 忍

鬼北の足跡をたどる【第3回】



鬼北の「鬼」とは何なのか

鬼北の「鬼」のいわれは、山の神としての「おに」の信仰が深く関係していますが、我々が鬼と聞いてイメージするような伝説もいくつか伝わっています。

一 「鬼ヶ城」という山（現在の松野町に位置する古鬼ヶ城山）は、「鬼王 段三郎」が大岩を引き寄せて造った「鬼（おに）」の城と伝わる。

二 等妙寺をどこに建てようか探していた理玉和尚の目の前に「鬼王」が突然現れ、大岩を軽々と投げ飛ばし、建立に適した場所を示したという。

三 鬼ヶ城山系の山中にある「タモト岩」と呼ばれる大岩は、「鬼王」の懐から落ちたという。

四 松野町の滑床溪谷にある「鼓岩」と呼ばれる大岩を「鬼王 段三郎」やその主君、曾我兄弟が力試しで動かしたとの伝承がある。



▲三本杭越しに古鬼ヶ城を望む



▲正連寺駄場という地点にある「タモト岩」